

タイ6期松生敏子（まついけとしこ）
国際交流基金“日本語パートナーズ”
サティセタブットバンペン校(パソク・ミンブリー)

第19回派遣報告 「こどもの日・外国語学科行事」

2019年1月

タイでは1月12日が子供の日です。僧侶9人が来校し、ステージに上がり、経を唱えました。ステージ(stage)に向かい左側に、校長先生と4人の副校長先生が座っています。生徒はクラス(class)の色の上着を着て並んでいます。



読経が終わると、タンブン(布施)が行われました。コの字型に並んだ白い椅子の内側に生徒が移動し、家から用意してきた品物をタンブンします。僧侶は、順に外側を歩いてタンブンを受け取ります。



タンブンのタンは「する・行う」ブンは「徳を積む・善を行う」の意味です。タンブンをすると、「苦」の原因となる「執着」を取り除き、物惜しみや思い上がりの心を捨てられると、教えています。

子供の日の行事の後半は、外国語学科の行事が続きました。
派遣校のサティセタブットバンペン校は、英語と中国語が必修科目、
日本語と韓国語が選択科目です。

各国の踊りを披露しました。日本語学科は、生徒が振り付けをして
浴衣で踊りました。もう1曲は、ちびまる子ちゃんの「おどるポンポコリン」
です。韓国語学科も、扇子をきれいに使って、踊っていました。



下の写真は、右から着物を着てくださった副校長先生、韓国、中国、
日本、中国の外国人教師です。



終了後はアイスクリームの配布がありました。掃除して終了です。

